

<p style="text-align: center;">システム創成 I</p> <p style="text-align: center;">Design and Implementation of Information Systems I</p>	<p>(教員名)</p> <p>安倍 広多、石橋 勇人、松浦 敏雄、 村上 晴美、永田 好克</p>	
<p>情報システム創成研究分野 中核科目</p>	講義科目	選択
	2 単位	2017 年度・前期
<p>I 科目の主題</p> <p>ソフトウェアの開発プロセスを体験的に学ぶ。本授業では、開発プロセスのうち、外部設計書の作成までの実践を通して、ソフトウェア開発手法を体験的に学ぶ。プロジェクトチームを組み、共同でのソフトウェアの開発を体験する。</p> <p>授業時間中は検討中のシステムや各文書等について学生と教員の間でディスカッションを行う。授業時間外での作業が必要である。各週毎の作業報告書の提出を求める。</p>		
<p>II 授業の到達目標</p> <p>ソフトウェアの開発プロセスのうち、外部設計書の作成までの実践を通じて、ソフトウェア開発手法を学ぶことを目標とする。本授業では、3～5名程度でプロジェクトチームを組み、共同でソフトウェアの開発を目指す。システム提案書、開発計画書、外部設計書などの文書の作成を含め、開発プロセスの前半を経験する。</p>		
<p>III 授業内容・授業計画</p> <p>第1回 ソフトウェア開発プロセスの概要 (講義: 2 時間)</p> <p>第2～4回 対象システムの検討 (実習および議論: 12 時間)</p> <p>第5回 システム提案書の検討 (実習および議論: 6 時間)</p> <p>第6回 システム提案書の作成 (実習および議論: 6 時間)</p> <p>第7回 システム提案書のレビュー (学生の発表および議論: 2 時間)</p> <p>第8回 システム提案書の作成 (実習および議論: 4 時間)</p> <p>第9回 開発計画の検討 (実習および議論: 6 時間)</p> <p>第10回 開発計画書の作成 (実習および議論: 6 時間)</p> <p>第11, 12回 外部設計の検討 (実習および議論: 6 時間)</p> <p>第13回 外部設計書の作成 (実習および議論: 6 時間)</p> <p>第14回 外部設計書のレビュー (学生の発表および議論: 2 時間)</p> <p>第15回 外部設計書の作成 (実習および議論: 4 時間)</p>		
<p>IV 事前・事後の学習内容</p> <p>所定の文書を作成するために、各グループ毎のミーティング、および、個人での授業準備が必要である。</p>		
<p>V 評価方法</p> <p>システム提案書、開発計画書、外部設計書: 30 点</p> <p>日々の作業レポート: 30 点</p> <p>各回の授業での貢献度: 40 点</p>		
<p>VI 受講生へのコメント</p> <p>システム創成 I で設計したものをシステム創成 II で実装する。従って、原則としてシステム創成 I と II の両方を受講すること。状況によっては梅田キャンパスで授業を行うことがある。</p>		
<p>VII 教材</p> <p>【教科書】鶴保証城、駒谷昇一: ずっと受けたかったソフトウェアエンジニアリングの授業 1、翔泳社(2006)</p>		